

NAKATOMI

エンジンチェーンソー GCS-355

取扱説明書



このたびは、弊社「エンジンチェーンソー GCS-355」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

●表示と意味




⚠警告

使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。







⚠注意

使用を間違った場合に人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

- ※△注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも充分な配慮をしてご使用ください。

図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。






⚠警告

- | | |
|--|--|
| ・機械の調子が悪かったり異常に気がついたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。 |  |
| ・ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。給油の際は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認して給油してください。 |  |
| ・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。 |  |
| ・給油の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。 |  |
| ・改造・分解は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。 |  |
| ・商品の運送途中の衝撃により、商品が破損したり、取り付け部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して、正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。 |  |











 警告

・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。	
・運転操作のわからない人、指導を受けていない人には絶対操作させないでください。特にお子様は危険です。	
・疲れているとき・体調の悪いとき・酔っているとき・薬を服用しているとき等、正常な運転操作ができないときは絶対に使用しないでください。事故の原因となります。	
・本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また改造は絶対にしないでください。	
・エンジンを始動させる際はソーチェーンが切断材料や他のものに当たっていないことを確認してください。	
・使用中、揮発性の高い油を絶対に近づけないでください。また、給油した場所ではエンジンを始動させないでください。火災・爆発の危険性があります。	
・始動時および使用中はプラグキャップに触れないでください。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	
・風通しの悪い場所や、排気のこもる場所ではガス中毒の原因となりますので、そのような場所では使用しないでください。	
・作業は視界の良い日中のみ行ってください。暗い場所での作業は事故の可能性があります。大変危険です。	
・本機の周りにおがくず、紙、石油、シンナー、火柴等の燃え易いものは近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。	
・常時、本体の上には物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。	
・運転時、もしくはエンジン停止直後はエンジンやマフラーに触れないでください。やけどの原因となります。	
・刃の先端部では切断作業をしないでください。枝や壁、地面等にも触れさせないようにしてください。	
・使用中チェーンソーの延長線上に体を置かないでください。必ず少し左に体を置いてください。	
・雨天・雨上がり・強風・雷時等には作業を行わないでください。転倒や自然災害に遭う危険性があります。	
・木材の切断以外に使用しないでください。	

⚠ 警告

・使用時は両手で本体をしっかりと持ってください。片手では絶対に作業をしないでください。事故やケガの原因となります。	
・使用中は可動部に顔や手等の体の一部を近づけないでください。事故やケガの原因となります。	
・誤って落としたりぶつかったりした場合にはすぐに使用を中止し、エンジンを停止させ、破損・亀裂・変形がないことをよく確認してください。	
・はしごや樹木に登っての作業・不安定な姿勢での作業は行わないでください。事故やケガの原因となります。	
・樹木を伐り倒す作業や樹木を切断する作業を行う場合は、法や規則で定める特別教育を受けた者に行わせてください。 (関連法令) 労働安全衛生法第59条第3項 安全衛生特別教育規定第10条の2 労働安全衛生規則第36条第8号の2	

⚠ 注意

・燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。	
・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となります。	
・リコイルスターターの周りに付いたゴミは取り除くようにしてください。	
・部品は必ず取扱説明書に記載されているものをご使用ください。	
・法令および各都道府県の条例で定める騒音規制に応じて、遮音壁を設ける等の防音措置を講じてご使用ください。	
・エンジンの始動は、安定した場所で行ってください。	
・使用を中断する時や移動するときは必ずエンジンを停止してください。また、エンジンをかけたまま放置しないでください。事故の原因となります。	
・行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするよう指導しています。作業時間をうまく計画してご使用ください。	
・切断材料に石・釘等の異物がないことを確認してください。	
・切断材料はしっかりと固定してください。また、切り落とし材に注意して作業を行ってください。	

⚠ 注意

・切り落とし寸前や切断中に切断材料の重さでガイドバーが挟み込まれないように、切断部位に近い位置を台等で支えて作業を行ってください。



・2台以上で作業をするときは、安全な距離をとって作業を行ってください。

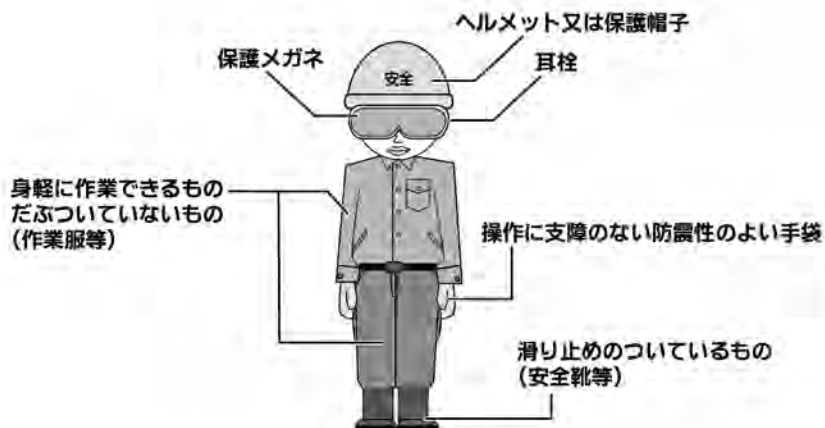


・使用しない時は必ずソーチェーンカバーを装着し、ソーチェーンが剥き出しにならないようにしてお子様の手が届かない場所に保管してください。



※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。

安全上の注意事項を守って、正しくお使いください。



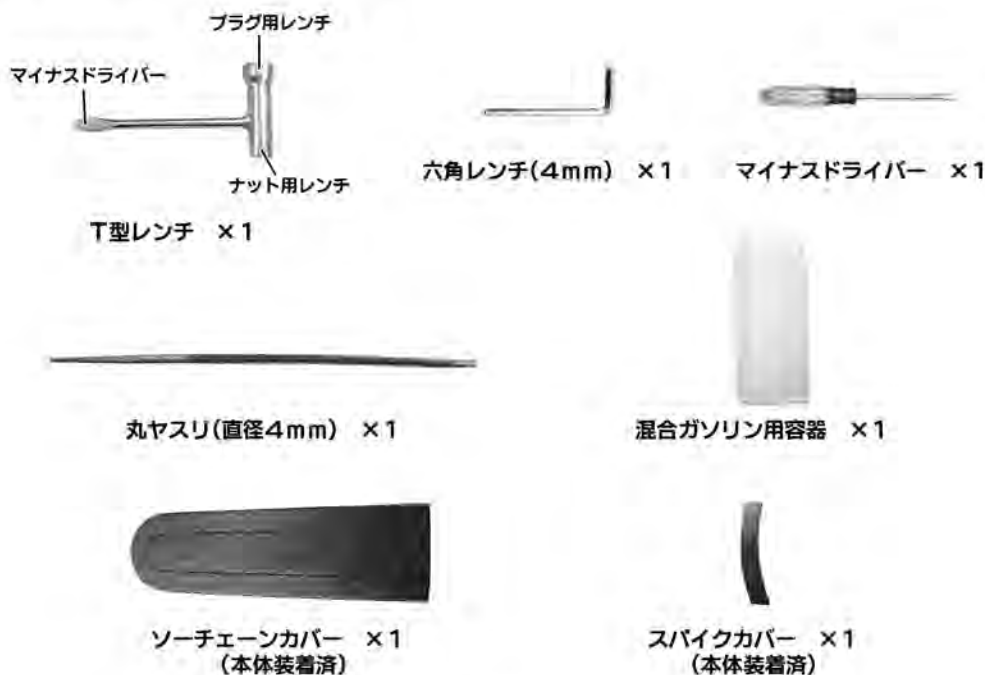
上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。

【仕様】

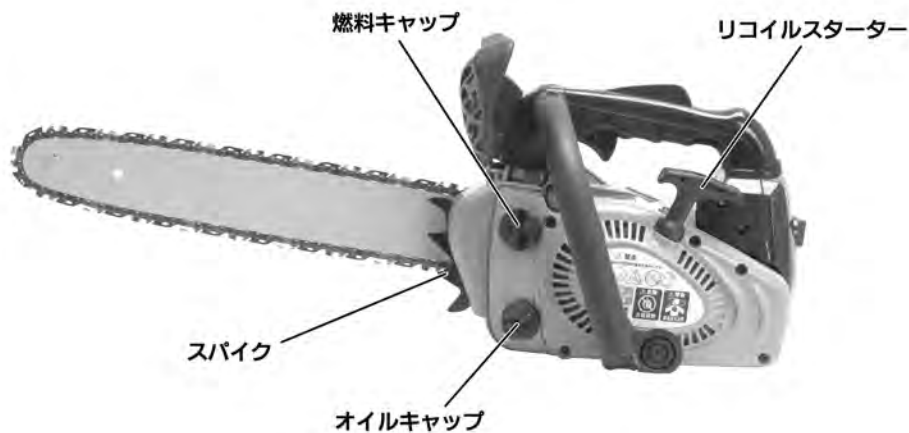
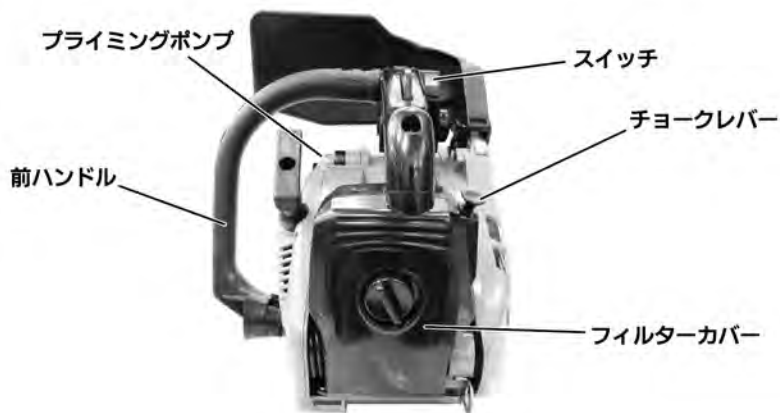
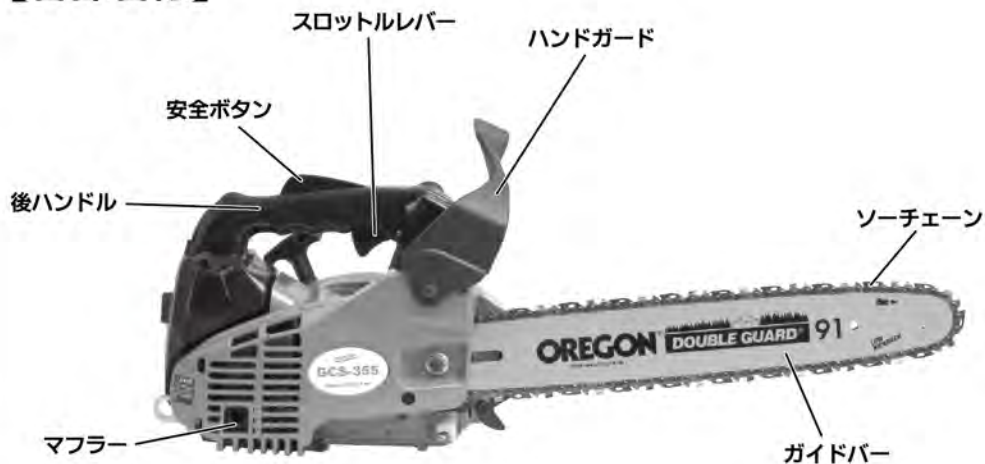
エンジン形式	空冷2サイクルガソリンエンジン
使用燃料	潤滑油混合ガソリン 無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル 25：1
排気量	25.4mL
燃料タンク容量	230mL
オイルタンク容量	160mL
始動方式	リコイルスターター
点火プラグ	NGK BPMR7A
給油方式	自動
ガイドバー	OREGON製 140SDEA041
ソーチェーン	OREGON製 91PX-52E (ピッチ：3/8インチ ゲージ：0.050インチ)
騒音値	110dB
本体寸法	W610mm×D220mm×H240mm
質量	約3.8kg

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

【付属品】 ※大きさは実寸比と異なります。



【各部名称】



【使用前の準備】

●チェーンオイルの注油

- ・本機にはチェーンオイルは入っておりません。
市販のチェーンオイルまたは自動車用エンジンオイル（下表参照）をご用意ください。

使用オイル
チェーンオイル 自動車用エンジンオイルAPI規格SEクラス以上、またはSAE粘度分類10W-30ランク

- ①本体側面下側のオイルキャップを上にして本体を置きます。
- ②オイルキャップを反時計方向に廻して外し、市販のチェーンオイルもしくは自動車用エンジンオイルを注油します。
- ③注油後オイルキャップを付け、時計方向に廻してしっかりと締めてください。



オイルキャップ

●燃料の給油

⚠警告

- ・ガソリンは非常に引火性が高く、酸化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。給油の際は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認して給油してください。
- ・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・給油の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。

- ・本機に使用する燃料は、無鉛ガソリンと2サイクルエンジン専用オイルを25：1の割合で混ぜた混合ガソリンです。
- ※ガソリン・オイルの種類や混合比が異なると、エンジン不調の原因となりますのでご注意ください。

混合比	
無鉛ガソリン	2サイクルエンジン専用オイル
25	1

- ①本体側面上側の燃料キャップを上にして本体を置きます。
- ②燃料キャップを反時計方向に廻して外し、混合ガソリンを給油します。
- ③給油後は燃料キャップを付け、時計方向に廻してしっかりと締めてください。

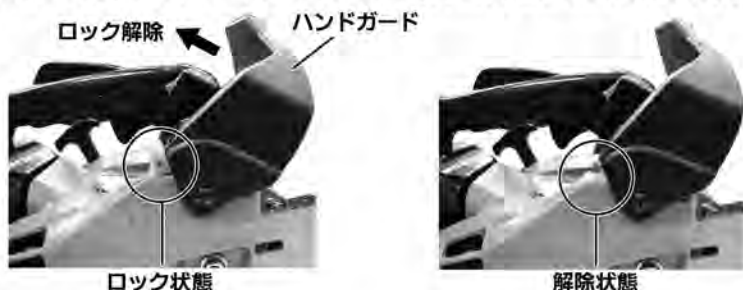


燃料キャップ

【使用方法】

●チェーンブレイキ

- ・チェーンブレイキは使用中に跳ね返り(キックバック)が発生した際の危険を少なくするための装置です。ガイドバーの先端で切断したり、ガイドバーの先端が枝等の先に触れて強い跳ね返りが生じた場合に自動的に作動し、ソーチェーンを瞬時に停止させます。
- ※チェーンブレイキはハンドガードを手前に引くと解除できます。
- ※チェーンブレイキは、ハンドガードをソーチェーン方向に押すことでロックできます。



●エンジンの始動

■エンジンが冷えている場合の始動

- ①チェーンブレイキがロック状態の場合には解除してください。
- ②スイッチをONにします。
- ③燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※約10回程押せば燃料が上がってきます。
- ④チョークレバーを2段目の位置まで引き出してください。
チョークが閉じてスロットルレバーが始動位置になります。
- ⑤安定した場所に置き、周囲に障害物のないことを確認してから、本体が動かないようしっかりとおさえ、リコイルスターターをゆっくりと引きます。
- ⑥リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、それを最初の爆発音がするまで繰り返し行います。爆発音の後にエンジンが停止した場合は手順⑦へ、始動した場合は手順⑧へ進んでください。
- ⑦安全ボタンを押しながらスロットルレバーを握ってチョークレバーを一度戻し、チョークレバーを1段目の位置まで引き出してから、リコイルスターターを引いてエンジンを始動させてください。



⚠注意

チョークレバーは手で押して戻さないでください。スロットルレバーを握るとチョークレバーは戻ります。チョークレバーを無理に押して戻すと故障の原因となります。

- ⑧エンジンが始動したら、安全ボタンを押しながらスロットルレバーを握ってチョークレバーを戻します。その後、2～3分間スロットルレバーを握ったり戻したりを繰り返して暖機運転を行います。

気温が低いときは十分な暖機運転が必要です。エンジンの回転が安定し、低速から高速回転にした際に滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。



押す ↓ 安全ボタン



乾いた木材またはコンクリート

⚠警告

チョークレバーを初爆始動時（1段目）の位置で始動した場合、ソーチェーンが回転したままになります。エンジン始動後は必ずスロットルレバーを引いてチョークレバーを戻してください。

- ⑨暖機運転終了後、チェーンオイルが吐出していることを確認してください。
※スロットルレバーを握って数秒間高速回転をさせ、チェーンオイルが飛散していれば正常です。

■エンジンが温まっている場合の始動

- ①チェーンブレーキがロック状態の場合は解除してください。
- ②スイッチをONにします。
- ③チョークレバーを1段目の位置まで引き出してください。
- ④本体が動かないようしっかりとおさえ、リコイルスターターを引いてエンジンを始動します。
- ⑤エンジンが始動したら、安全ボタンを押しながらスロットルレバーを握ってチョークレバーを戻します。

⚠注意

- ・チョークレバーを引き上げた状態のまま、いつまでもリコイルスターターを繰り返し引き続けると、燃料を吸い込みすぎて始動しにくくなります。
- ・燃料を吸い込みすぎたときは、点火プラグを外し、ソーチェーンを上にして本体を立て、リコイルスターターをゆっくりと数回引いて余分な燃料を排出してください。また、点火プラグの電極部を完全に乾かしてください。
- ・リコイルスターターは最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。また、リコイルスターターは急に手を離さず、静かに戻すように心がけてください。
- ・空ぶかしはエンジンの寿命を縮めますのでむやみに行わないでください。

●エンジンの停止

- ①スロットルレバーを戻し、低速でしばらく運転します。
- ②スイッチをOFFにします。



●キックバックについて

キックバックとは、ソーチェーンが高速回転中にガイドバーの先端部分が何かに触れたときに、反作用で機体が逆方向にはね返される現象のことをいいます。操作を誤るとキックバックにより重大な傷害事故を引き起こす危険性がありますので、ご注意ください。



●丸太の切断

①丸太等の下にまくら木を敷き、丸太等を固定具等で固定します。

②スロットルレバーを握りソーチェーンの回転が一定になったら、ガイドバーの付け根付近を丸太等に静かに当てて切断してください。

※ガイドバーの先端を当てるとチェーンソーが跳ね上がってくる（キックバック）があり大変危険です。



●伐採

⚠警告

・樹木を伐り倒す作業や樹木を切断する作業を行う場合は、法や規則で定める特別教育を受けた者に行わせてください。

(関連法令)

労働安全衛生法第59条第3項・安全衛生特別教育規定第10条の2・労働安全衛生規則第36条第8号の2・幹の湾曲具合・枝の張り出し具合・風向き等の環境条件を十分考慮に入れて伐採してください。

・木は常に受け口側に倒れるとは限りません。切断中、木の動きには十分注意してください。

①伐採する木の周りの障害物を取り除き、しっかりとした足場と倒れ時の退避場所を確保します。

②倒したい側の幹にくさび状の切り込み（受け口）を入れます。

③受け口の反対側から直角に切り込み（追い口）を入れます。
※追い口の切り込み中にソーチェーンが木に挟まれた場合は無理をせずにくさび等を用いて切り口を広げてから取り外してください。

④木が倒れ始めたらエンジンを止め、安全な場所に避難してください。

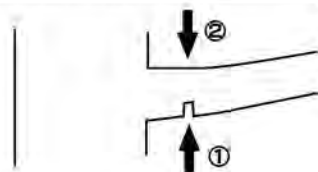


●枝払い

⚠注意

・伐採後の丸太の枝払いは、安全のため丸太をロープ等で固定してから行ってください。

- ・太い枝の場合は、割れや裂けをふせぐため、下側から1/3程度の切込みを入れて、その後上側から切り落としてください。



- ・倒した木の枝払いは、上側側面の枝を一方向より切り落としてから下側の幹を支えている枝を残して下側の枝を切り落としてください。

※下側の枝は設置条件によっては切断中に反発することがありますので、十分注意してください。



【保守と点検】

⚠警告

- ・点検・整備は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから行ってください。
- ・ソーチェーンは鋭いので、ケガをしないよう手袋等を装着し、十分注意して扱ってください。

●ガイドバー・ソーチェーンの取り付け

⚠注意

・ソーチェーンが新しいうちは伸びが大きいので、こまめに張り調整をしてください。

- ①チェーンブレーキが解除されていることを確認してください。
- ②マフラー横のネジを付属品の六角レンチを使用して外します。
- ③付属品のT型レンチを使用してハンドガード下のナットを外し、チェーンカバーを外します。
- ④ガイドバーをエンジン側にずらして、ソーチェーンを外します。
- ⑤新しいソーチェーンに交換します。

- ・指定ガイドバー：OREGON製 140SDEA041
- ・指定ソーチェーン：OREGON製 91PX -52E
(ピッチ：3/8インチ ゲージ：0.050インチ)



- ⑥ スプロケット側からソーチェーンを入れ、ガイドバーの溝に通してたるみがなくなるまで前方にガイドバーを引きます。
 ※ソーチェーンの向きにご注意ください。

ソーチェーンの向き



- ⑦ チェーンカバーの爪を本体側の溝にはめこみます。

- ⑧ チェーンカバーのスライドピンをガイドバーの調整孔に差し込みます。

- ※チェーンカバー表面の調整ネジを廻してソーチェーンの張りを調整することができます。
 時計方向に廻すと張っていきます。
 反時計方向に廻すとゆるんでいきます。

- ⑨ ナットを軽く仮締めします。

- ⑩ ソーチェーンの中央部を指で引っ張り、ガイドバーとソーチェーンのすき間が3.5~4.5mmになるように、ガイドバーの先端部を持ち上げながら、調整ネジで張りを調整します。

- ⑪ 調整が終わったらガイドバー先端部を持ち上げながら、ナットをしっかりと確実に締め付けてください。

- ⑫ ソーチェーンが手で軽く動くか確認してください。ガイドバーとソーチェーンの隙間が不適当な場合は、ナットをゆるめて再調整してください。



持ち上げる



調整ネジ

ゆるむ 張る

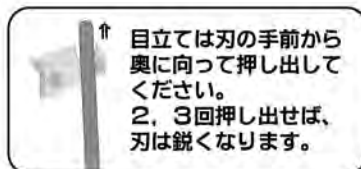


●ソーチェーンの目立て

- ・ソーチェーンの張りが適正な状態で本体を固定し、付属品の4mmの丸ヤスリを使用して目立てを行ってください。
- ※ソーチェーンを手で動かす場合は、刃でケガをしないよう気をつけてください。



丸ヤスリ(4mm)



目立ては刃の手前から奥に向かって押し出してください。2、3回押し出せば、刃は鋭くなります。

上刃の目立て角度



30°

横刃の目立て角度



85°

上刃の切削角度



60°



ソーチェーンを引いて回す

●チェーンオイル吐出量の調節

- ・本体底部のオイル量調節ネジでチェーンオイルの吐出量を調節できます。

時計方向に廻すとチェーンオイルの吐出量が少なくなります。
反時計方向に廻すとチェーンオイルの吐出量が多くなります。



オイル量調節ネジ

●チェーンオイル吐出口のお手入れ

- ・チェーンオイル吐出口は定期的に清掃してください。



オイル吐出口

●ガイドバーのお手入れ

- ・使用していきまると切り屑がガイドバーの溝に詰まることがあります。切り屑がガイドバーの溝に詰まると、チェーンオイルがソーチェーン全体に行き渡らなくなります。ソーチェーンの目立てや交換を行うときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



●エアフィルターのお手入れ

⚠警告

- ・洗油は引火しやすいので、タバコを吸ったり炎等の火気を近づけないでください。火災や爆発の原因となり大変危険です。
- ・エアフィルターの清掃は換気の良い場所で行ってください。

⚠注意

- ・エアフィルターが目詰まりしますと、エンジンの始動不良や出力不足、燃料消費量の増加等の原因となりますので、定期的に清掃をしてください。

①本体後部の固定ネジをゆるめてフィルターカバーを取り外します。

- ②エアフィルター・スポンジフィルターを取り外し、付着しているゴミやホコリを払ってください。汚れのひどい場合にはエアフィルターからスポンジフィルターを外し、灯油等でスポンジフィルターを洗浄してください。
- ※洗浄後、スポンジフィルターをエンジンオイルにひたし、スポンジフィルターからエンジンオイルを良くしぼった物を取り付けてください。スポンジフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。
 - ※洗浄してもフィルターの汚れがひどい場合、またはスポンジフィルターの弾力が無くなったり傷みがある場合には、新しい物と交換してください。
 - ※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターは定期的に清掃してください。



固定ネジ



スポンジフィルター

●点火プラグのお手入れ

⚠警告

- ・電極が汚れたり電極の隙間が不適切だと、正常な火花が飛ばなくなりエンジンの回転数が不均一になる等、エンジン不調の原因となります。
- ・点火プラグの点検・清掃・交換・調整は完全にエンジンが冷えてから行ってください。
- ・点火プラグの取り付けは点火プラグのねじ山を潰す恐れがありますので、はじめは指で軽くねじ込み、それからレンチで確実に締め付けてください。

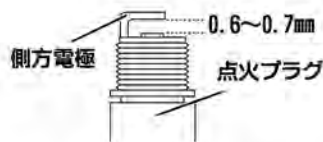
①本体後部の固定ネジをゆるめ、フィルターカバーを取り外します。

②プラグキャップ・点火プラグを外して、カーボンの汚れがあるかどうか確認してください。

※汚れている場合には、プラグ用クリーナー、ワイヤーブラシ等でカーボンを落としてください。

※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて隙間の調整を行うか、交換してください。

・指定プラグ：NGK BPMR7A



●その他

- ・定期的にマフラーの点検、各部のナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れ・オイル漏れの確認をしてください。
- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いはしないでください。

●長期間使用しない場合

- ・長期間(30日以上)使用しない場合には、下記の作業を行ってください。

①本体やガイドバー・ソーチェーンに付着しているゴミや汚れを取り除きます。

②燃料タンク内の燃料を抜きます。

③燃料を抜いたら、抜いた場所から3m以上離れた場所に移動し、エンジンを始動させて自然停止するまで運転させます。

※燃料を残したままにしておきますと、キャブレターの詰まり・作動不良等の原因となります。

※燃料を抜く際は、トレー等を置き、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。

④オイルタンク内のチェーンオイルを抜きます。

※チェーンオイルを抜く際は、トレー等を置き、周囲にチェーンオイルがこぼれないようにしてください。

※廃油は法令に基づいて処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

⑤点火プラグを取り外し、2サイクルエンジン専用オイルを1~2mLエンジン内に注油してリコイルスターターを2~3回引きます。

⑥点火プラグを取り付け、リコイルスターターを引き、圧縮位置で止めます。

⑦子供の手の届かない、湿気やホコリの少ない場所に保管してください。

●トラブルの原因と対策

⚠注意

- ・本機の修理は、必ずお買い求め販売店へお申し付けください。
- ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない	燃料が無い・古い	新しい燃料を補給する
	スイッチが「OFF」になっている	スイッチを「ON」にする
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアークリーナーが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換する
	オーバーチャーク（燃料の吸い込み過ぎ）	点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	燃料が回っていない	プライミングポンプを押す
エンジンの出力不足 および回転が不安定	燃料フィルターの詰まり	清掃する
	エアークリーナーが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換する
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良	お買い求め販売店に相談する
チェーンオイルが出ない	チェーンオイルが不足している	チェーンオイルを補給する
	チェーンオイルフィルターの詰まり	清掃する
ソーチェーンが回転しない	チェーンブレーキが作動している	チェーンブレーキを解除する
	ソーチェーンが外れている	ソーチェーンを確実に取り付ける
	ソーチェーンが切れている	新しいソーチェーンに交換する

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常についてはお買い上げいただきました販売店へご相談ください。